

日本産業衛生学会 北陸甲信越地方会ニュース

発行所：日本産業衛生学会 北陸甲信越地方会事務局 〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1 信州大学医学部衛生学
公衆衛生学教室 TEL 0263-37-2622 FAX 0263-37-3499 発行責任者：地方会長 野見山 哲生



巻 頭 言



『第 65 回日本産業衛生学会北陸甲信越地方会』

日本産業衛生学会北陸甲信越地方会 福井県理事
福井県産業保健総合支援センター 所長

黒田 譲

例年より相当早く梅雨明け宣言が出され大丈夫かなと思っていたら、案の定、異常な暑さに悩まされ、また局所豪雨による河川氾濫と土砂崩れにより道路は寸断され、国道 8 号などは、しばらく上下線とも通行止めが続き、心配しましたが、現在全て復旧しております。8 月下旬となり、朝晩かなり涼しく、秋の気配が感じられますが、高い山ではそろそろ紅葉へと、そして冬支度が始まろうとしています。そして私たちの身の回りでは稲刈りが始まり、本格的収穫の秋を迎えました。

さて、ここで 2 年越しのコロナ感染症のことについてですが、全国的に蔓延している状況で、福井県も連日 1,000 人を超える感染者の報告があります。ワクチン接種は計画的に実施されていますが、今後の感染者数の集計方法が変わるとみられることから、感染者数がどの程度になるのかは 10 月 16 日時点では把握できない可能性もあります。ところで「病気とは、ヒトが周囲の環境にまだ適応できていない状況」であるとすれば、環境は常に変化しますから、その環境への適応には、適応する側にも不断の変化が必要になることを意味します。そして環境が変化すれば、一時的な不適応が起こり、変化の程度が大きいほど、あるいは変化の速度が速いほど、不適応の幅も大きくなります。よく「ウィズ・コロナ」といいますが、このあたりに大きな壁が存在しているのでしょうか。とにかくこの第 7 波の感染拡大が、どんな形であれ速やかに収束することを願いたい。そして学会当日来福の上ご出席していただけるなら本当にうれしく思います。

第 65 回地方会では一般演題の他、特別講演として次の 2 席設けさせていただきました。第 1 席は化学物質関係です。最近の化学物質を原因とする労働災害（がん等の遅発性疾病を除く。）は年間 450 件程度で推移しており、がん等の遅発性疾病も後を絶ちません。これらの現状を踏まえたうえでの法改正を中心に福井労働局の井関課長に御講演をお願いしております。第 2 席は働く人のやる気の心理学と題して福井大学の安倍教授にお願いし

てあります。“やる気とは何か”から、やる気の出ない職員への対応、支援をどうするかなど、私たちが平日頃気になっていたところを学術的に解き明かしてお話いただくと承知しております。どちらも日ごろの職場管理にあるいは職員管理にとって必要な知識として役立つものと確信しております。

最後に、独立行政法人労働者健康安全機構と都道府県産業保健総合支援センターについてですが、前者はその設置法に基づいた、厚生労働省所管の独立行政法人です。後者は機構が運営する公的機関として各都道府県に一つずつ配置されています。公的機関としての私たちの役割は、行政が掲げる政策を遂行するため、国民の皆様が健康に、かつ安心して働くことができるようにとの理念のもと、働く人の健康を守り、病気を治療し、更に職場復帰が叶うよう、事業場や労働者の方々の直接的窓口となり、地域に根ざした様々な支援を行って行くことであると心得ております。当センターが地域の皆様への「支援」を推進し、すべての働く人々の支えとなれるよう、精進してまいりますので、これからも皆様方の御指導・御協力をお願い申し上げまして巻頭言とさせていただきます。

第 65 回日本産業衛生学会北陸甲信越地方会

日時：2022 年 10 月 16 日（日曜日） 10:00～15:30（予定）

会場：ハピリンホール（〒910-0006 福井県福井市中央 1 丁目 2-1 ハピリン 3 階）

福井県医師会長 池端幸彦先生を学会長として、福井県福井市で開催致します。

総会当日は特別講演を予定しております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

一般演題 10:00～11:50

学会総会 12:00～12:30

特別講演（北陸甲信越地方会産業医部会・産業看護部会共催）

13:30～14:30 「化学物質による労働災害防止のための新たな規制の概要について」

福井労働局労働基準部健康安全課 課長 井関 武彦

14:30～15:30 「働く人のための”やる気”の心理学」

福井大学学術研究院医学系部門行動科学分野 教授 安倍 博

参加申込はオンライン登録により行います。

参加希望の方は、10月7日（金）までに

右の QR コードで登録をお願い致します。



問い合わせ先

第 65 回日本産業衛生学会北陸甲信越地方会事務局

〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23-3

福井大学医学部環境保健学

TEL：0776-61-8338 FAX：0776-61-8107

E-mail：moriko@u-fukui.ac.jp

お知らせ

開催案内の詳細は、下記のホームページをご覧ください。

http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/medicine/chair/pmph/sanei_chihoukai/info/65chihokai.html

今後の新型コロナウイルスの感染拡大状況により、開催方法等の変更を伴う可能性がございます。地方会ホームページで最新情報をご確認下さいますようお願い致します。

第65回日本産業衛生学会 北陸甲信越地方会

日時：2022年10月16日（日） 10:00～15:30（予定）
 会場：ハピリンホール（福井市中央1丁目2-1、ハピリン3階）
 学会長：池端 幸彦（福井県医師会長）
 主催：日本産業衛生学会北陸甲信越地方会
 共催：福井県医師会
 後援：福井労働局

参加費：
 日本産業衛生学会 北陸甲信越地方会 会員 無料
 非学会員 1,000円（当日受付で頂きます）

プログラム（予定）
 10:00～11:50 一般演題
 12:00～12:30 総会
 13:30～15:30 特別講演（産業医部会・産業看護部会 共催）

1) 化学物質による労働災害防止のための新たな規制の概要について
 座長 平工 雄介（福井大学学術研究院医学系部門環境保健学 教授）
 演者 井関 武彦（福井労働局労働基準部健康安全課 課長）

2) 働く人のための”やる気”の心理学
 座長 高山 英之（株式会社 高山産業医事務所 代表取締役）
 演者 安倍 博（福井大学学術研究院医学系部門行動科学分野 教授）

※日本医師会認定産業医単位（生涯、更新・専門 各1単位、申請中）
 ※日本産業衛生学会産業保健看護専門家制度研修単位（申請中）



地方会事業から

『産業看護部会（石川県）取り組み』

石川県産業看護部会の会員は十数名と少ないことから、石川産業保健総合支援センターとの共催で研修会を実施しています。2022 年度は 6 回の看護職研修会を予定しています。

初回は、産業保健師の働き方として「独立産業保健師の活動」の紹介と意見交換を行いました。6 月には、ホットなテーマ『化学物質管理～法令順守から自律的管理へ～』で、四日市看護医療大学の柴田英治学長にお話しいただきました。この研修(web)は、看護職以外に JR 西日本の産業保健職をはじめ、産業医、作業環境測定士の方々、合わせて 76 名の参加がありました。

他にも、睡眠、循環器対策、中高年齢者の健康管理、職場巡視の研修(表)を進めるとともに、学会活動への参加も案内しているところです。

	日時	テーマ：講師
1	2022年4月13日（水） 14：00～16：00	「産業保健師の働き方」=独立産業保健師の活動紹介と座談会：塚田産業保健師事務所 塚田 月美 保健師
2	2022年6月25日（土） 13：30～15：30	『化学物質管理～法令順守から自律的管理へ～』：四日市看護医療大学 柴田英治 学長
3	2022年7月4日（月） 14：00～15：30	『安全衛生管理に必要な健康な睡眠のための生体リズムのリセット』：福井大学学術研究院医学系部門・行動科学分野 安倍 博 教授
4	2022年9月14日（水） 14：30～16：00	「健康診断結果からの循環器疾患対策」：金沢大学医学系研究科 藤野 陽 教授
5	2022年10月12日（火） 14：00～16：00	中高年齢者の健康管理 エイジフレンドリーがトライノに沿った体力測定と会社での体力づくりの実践：亀田・元橋
6	2023年2月9日（木） 14：30～16：00	職場巡視の実際 某工場内職場巡視映像（視察ビデオ）を使用し、職場巡視のチェックポイントを学習する：石川県予防医学協会 田畑 正司 健診部長

(文責 亀田真紀)

『新潟県における地方会事業から』

新潟県では、2021 年 10 月 31 日に、第 64 回日本産業衛生学会北陸甲信越地方会を新潟県医師会館に於いて開催しました。

この地方会の案内文書やポスターに「兼 新潟産業保健研究会第 28 回研修会」と記載があったことに気づかれたでしょうか。常任理事会の承認を受け、「第

28 回研修会」は「第 64 回地方会」と兼ねて開催されました。

新潟産業保健研究会は、県内の産業保健の一層の発展と充実を図ることを目的に、2006 年の第 16 回産業医・産業看護全国協議会（会長 松原 統前新潟産業保健総合支援センター所長）兼 第 49 回北陸甲信越地方会総会開催を機に、翌年度企画運営委員の有志で組織されました。毎年度 2 回県医師会館を常設会場に、産業医、産業看護職、産業歯科医、産業カウンセラー、衛生管理者等の産業保健専門職の参加を得て、地方会関係では産業医部会、県産業看護部会および県産業衛生技術部会の共催を受け、研修会を開催しています。今年度は第 29 回を終え、現在第 30 回を準備中です。

最後に、研修会が新潟産業保健研究会、県医師会及び新潟産業保健総合支援センターの強力な連携により成り立っていることを付け加えたいと思います。

(文責 中平浩人)

会員の取り組み



『大学における産業看護職養成の課題』

山梨大学大学院総合研究部医学域看護学系・教授
産業医・労働衛生コンサルタント

宮村 季浩

私は山梨大学医学部看護学科において、

保健師養成のための公衆衛生学・保健学の授業、産業保健の実習を担当しています。また大学院では、産業保健の現場で活躍している産業看護職（産業看護師、産業保健師）の研究活動を支援しています。

労働安全衛生法では、職場に産業医や衛生管理者等さまざまなスタッフを配置することを義務づけ、労働安全衛生管理体制の中でそれぞれ果たすべき役割が規定されています。しかし、その中に看護職（看護師、保健師）は含まれていません。実際には、多くの看護職が産業保健の現場で活躍しており、産業医が効率的な業務を行うために求められる他職種との連携の中でも看護職の役割は重要です。またストレスチェック制度の導入等により、産業保健スタッフとして看護職、特に産業保健師の採用を検討する企業が増えています。そのような状況を受けて 2019 年 6 月には、日本看護協会よ

り産業保健を推進する目的で、産業医に加え保健師の選任も労働安全衛生法に明記するように厚生労働省労働基準局長宛に要望書が提出されています。

しかし、現在の大学での看護教育は、看護基礎分野で教育すべき内容が増加してきた影響で、産業保健に関する科目が縮小傾向となっています。保健師養成を行っている大学でも、産業保健に関する教育量の差が大きくなっており、産業保健師の養成を目的としている一部の大学以外では、産業保健の授業・実習が最小限で行われているのが現状です。また、産業看護職にとって研究遂行能力は、日々の業務を最適化していくために重要な能力ですが、現場で活躍する産業看護職が大学院等で知識・能力をアップデートするためには、事業者の理解を得ること、学ぶ環境を確保することなど、障害が多く、産業保健活動発展の阻害要因となっています。今後、産業看護職の活躍の場が広がっていく可能性のある中で、その教育や研究への支援について検討していくことが重要と考えます。

『第53回産業医学講習会 参加報告』

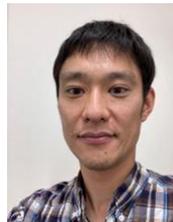
(株) 福井村田製作所・産業医

清水 一浩

私は 2017 年、東京医科歯科大学で開かれた産業医研修会(1週間の集中講座)を受講し、2018 年から専属産業医として勤務しています。新型コロナ流行の為に 2020 年 6 月開催中止となり、3 年ぶりの開催となった日本医師会主催 第 53 回産業医学講習会に 2022 年 8 月 26 日～28 日参加しました。

この講習会は、更新・専門研修合計 16.5 単位が取得でき、労働衛生コンサルタントの筆記試験免除を受けられることが特徴です。コロナ禍以前は 400 名の受講数に対し、数倍の応募があり抽選となっていたと聞いています。今回の受講者は、20 年に参加予定であった 362 名に案内され、175 名が応募したとのことでした。他参加者との交流はほとんどありませんでしたが、労働衛生コンサルタントの資格を目指している方は多くないように感じました。

講習内容としては、5 管理の総論各論、化学物質、粉塵対策など普遍的なものが多かったのですが、コロナに



関する統計への影響および労災保険制度、両立支援、メンタルヘルス、テレワーク、溶接ヒュームの特定化学物質追加、化学物質の自律的な管理、といった最近の話題もありました。

とくに厚労省の先生方による講演では、テレワークや働き方改革が定着し、過労死等防止対策推進法やいわゆるパワハラ防止法が施行される中で、精神障害等の労災補償が請求・認定とも増加が続いていること、労働安全衛生調査において仕事や職業生活に関するストレスを感じる労働者割合が依然として半数を超えていることが示されました。メンタルヘルス対策、過重労働対策に関する産業医への期待が感じられ、産業医職務の比重や求められることが今後変化していくのではと思われました。引き続き知識と実践を深め、求められる産業医となっていけるよう研鑽を積みしたいと思います。

新入会員紹介

富山国際大学子ども育成学部

大平 泰子



このたび、日本産業衛生学会ならびに北陸甲信越地方会に入会させていただきました大平泰子(おおひらたいこ)と申します。どうぞよろしくお願いたします。

専門は臨床心理学です。現在は、富山国際大学子ども育成学部にて心理学関係を中心に授業科目を担当しております。また、富山産業保健総合支援センターにて産業保健相談員として勤務しております。平成 31 年度には富山産業保健総合支援センターの調査研究「ストレスチェックの集団分析結果を活用した職場環境改善に関する研究」において、所長の鏡森定信先生はじめ諸先生方にご指導をいただきながら質問紙調査とインタビュー調査の実施に携わらせていただきました。その研究成果の一部をぜひ日本産業衛生学会で発表できればと、これを機に学会に入会させていただきました。

今後は、産業衛生学についてさらに多くのことを学び、産業保健活動における専門性を高めるとともに、研究も深めていきたいと思っております。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

私たちの職場 『昭和電工（株）塩尻事業所』 産業医 松澤幸範

当事業所は、穂高連峰を展望する日本の中央部に位置し、今年で創業 90 周年を迎えました。2014 年からは昭和電工セラミックス（株）塩尻工場として、研削砥石、研磨布などに使われる研削・耐火材、機械加工用の切削工具に使われる超高圧製品などを製造し、日本の自動車・機械加工関連分野・鉄鋼業からエレクトロニクス分野まで幅広い産業の発展を縁の下で支えています。

現在、専属産業医 1 名（昭和電工大町事業所も兼務）、看護師 1 名の体制で、約 170 名の従業員の健康管理を行っています。健康施策については、昭和電工本社の行動計画に沿って、健康保持増進委員会（産業医、看護師、総務部長、環境安全課長、人事担当、健康管理担当、ユニオンで構成）で毎年策定しています。

筆者が就任した 1998 年当初、男性従業員の喫煙率が 50% を超え、喫煙関連疾患の罹患も多かったため、最初に取り組んだのが喫煙対策でした。2003 年から空間分煙、2012 年から建物内禁煙、2020 年から就業時間内禁煙となり、吸いにくい環境作りが進みました。産業医面談による禁煙指導、ニコチンパッチの費用補助、事業所内診療所における禁煙治療なども実施され、男性の喫煙率は年々低下してきています。

近年は、「SDGs」や「健康経営」の観点から、総務部を中心に「塩尻ヘルスアップ大作戦！」として様々な健康増進活動が行われるようになりました。

具体的には、元気アップポイント（1 日の歩数、体重など健康指標に基準を設け、達成した項目にポイントを付与し特典を与える）、ウォーキングタイムトライアル（工場内のコースを歩き、自己申告タイムと実測値の差が小さい順にポイント付与）、県の信州 ACE プロジェクトへの参加、メンタルヘルス対策として出張坐禅会（写真参照）など、できるだけ多くの従業員が興味を持って参加しやすい施策を工夫しています。

また、2021 年からは全従業員に携帯スマホが貸与され、ビジネス用 SNS として導入された「Workplace」を用いて、看護師による健康だよりの配信や各種案内・資料共有などを行っています。これらの新しい健康増進活動は始まったばかりですが、「従業員一人一人が健康で生き生きと働ける会社」を実現するため関係者と協力しながら活動を進めています。



リレー形式で会員の皆様の紹介をつないでいきます！

会員 Relay ☆彡

信州大学 水木 将 先生からのご紹介でスタート♪
「大学での講義や、産業医勤務先など様々な所で、大変お世話になっている先生です。」



外科医局の同期です。診療の傍ら産業医としても活躍するマルチタレントです。

横山 章

所属：甲府刑務所医務課診療所
職種/役職：医師/医務課長
趣味：アマチュア無線

ひとこと：実は刑務所の中には生産工場があり、労働安全衛生の実践の場があります。学会で得た知見を役立てるように頑張ります。



幅広い知識や経験があり、同じ医局出身の頼もしい先輩です。

小林正史

所属：昭和メディカルクリニック
小林産業医労働衛生コンサルタント事務所
職種/役職：医師/代表

趣味：水泳、健康維持のトレーニング
ひとこと：コロナでリモート巡視面談を取り入れ、全国の小規模営業所の人たちとお話するようになりプチ旅行気分です。



前田宜包

所属：ファナック（株）健康推進センター

職種/役職：産業医/副センター長

趣味：バイクツーリング、テニス

ひとこと：60 歳を期に救急医から産業医に転進しました。後輩達にセカンドキャリアとして考えてもらえるようにしていきたいです。

次号へ

『ダイバーシティ推進委員会活動報告』

2022年5月26日に開催された第95回日本産業衛生学会(高知)でのダイバーシティ推進委員会フォーラムを報告する。「会員のダイバーシティを考慮した学会活動-日本医学会連合会の動きと日本産業衛生学会での活動-」をテーマに、会場参加・オンラインの併用で開催した。

名越澄子先生(埼玉医大)より「日本医学会連合によるダイバーシティ推進の取り組み」として、連合所属学会内の女性活躍の現状や、日本内科学会における女性・若手活躍を推進する試みが報告された。

続く、森晃爾理事長(産業医大)からの指定発言では、100周年を見据えたミッションと重点活動事項、およびその取り組みが紹介された。また、若手会員の学会運営参画への期待が述べられた。

能川和浩先生(千葉大)の「関東地方会での活動紹介」では、多職種連携の会の活動および子連れ研究会の開催が紹介された。また、例会のオンライン開催や、初のオンライン開催を行った第295回例会アンケート結果よりオンライン化は好評であったことを報告された。

岩根幹能先生(日本製鉄)の「近畿地方会での取り組み」では、若手研究者の交流機会として大学・部会・研究会の連携プロジェクトが発足し、若手会員による大学(医学部)の研究室訪問やワールド・カフェ開催、若手の学会発表支援などの活動が紹介された。

全体討論では、好事例の周知やホームページの活用についても議論がなされ、現在ある仕組みの中に落とし込むことができる内容は順次盛り込んでいくことでダイバーシティは推進するといったご意見を頂戴し、盛會に終了した。今後も当委員会では総会・協議会でのフォーラムやオンラインセミナーを予定しており、多くの方にご参加いただき、活動へのご意見等をお願いしたい。

(文責 川上 智子)

事務局から

理事会報告

○2022年度北陸甲信越地方会常任理事会

下記の通り行われました。

【日時】2022年6月18日(土) 13:00~15:00

【方法】ハイブリット会議

(現地:長野東急 REI ホテル、オンライン:zoom)

○役員変更のお知らせ

▷新潟県理事:遠藤 和男

(新潟医療福祉大学)

▷山梨県理事:宮村 季浩

(山梨大学大学院総合研究部)

▷富山県理事:上田 芳彦

(戸出伊勢領よろずクリニック)

▷産業看護部会長野県代表:荻久保 裕子

(国保依田窪病院衛生管理室)

役員選挙のお知らせ

日本産業衛生学会定款8, 25, 26条ならびに役員を選任に関する規程、代議員の選任に関する規程、地方会に関する規定4条に基づき、地方会長、本部代議員候補ならびに本部理事候補の選出を行います。ご投票よろしくお願ひ致します。

選挙日程

<地方会長選挙と代議員候補選挙>

9月20日 電子投票開始

10月11日 投票締切

10月16日 選挙結果報告(第65回地方会総会)

<本部理事候補選挙>

11月16日 電子投票開始

11月30日 投票締切

今後の行事案内

○第65回北陸甲信越地方会学会総会/理事会

【開催日】2022年10月15日(土) 理事会

16日(日) 学会・総会

【会場】ハピリンホール(福井県福井市)

会員訃報

北陸甲信越地方会所属の会員がご逝去されました。

井上 利男 先生(井上内科小児科医院)

小林 としえ 先生(日立オートモティブシステムズ)

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

この度、北陸甲信越地方会の地方会ニュース第11号を発行することができました。第7波のコロナ禍の中でも積極的な産業保健活動への取り組みが見受けられ、「ウィズ・コロナ」の先駆けを担う会員の皆様の近況をお知らせすることができましたことを喜ばしく思います。発行に際してご協力、ご尽力いただきました先生方へ改めて感謝申し上げます。

今後も地方会員の皆様の活動や取り組みを広報し、地方会におけるさらなる産業保健の発展を皆様とともに担って参りたいと思います。ご意見やご感想などございましたら編集委員までお寄せ頂きますと幸いです。

編集委員(五十音順)

編集委員長:森河 裕子

副編集委員長:塚原 照臣

編集委員:池田 裕子, 稲寺 秀邦, 遠藤 和男,

小坂 智恵子, 佐藤 一博, 高山 英之,

角田 ひろみ, 西澤 依小, 松永 康弘,

丸山 猛士

事務局:當房 浩一, 長谷川 航平, 水木 将

